

事業番号	03 04 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	政策評価・公共事業評価費		部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課政策評価室
			実施期間	H10～	E-mail	seisaku-hyoka@pref.nagano.lg.jp
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係						
政策の柱						

1 現状と課題

- ・（政策評価）社会課題が多様化・複雑化する中で、社会の環境変化、人々の意識の変化を敏感にとらえ、「県民から何を望まれているか」を起点として考え、機動的かつ柔軟に政策の見直しを行っていく必要がある。政策評価は、そうしたPDCAサイクルの基盤となることが求められている。
- ・（公共事業評価）限りある財源を優先度の高い事業に重点的に配分することで、最大かつ速やかに事業効果が発現できるよう、社会情勢などに適応した客観的かつ理論的な評価を行い、公共事業の一層の効率化を図っていく必要がある。

2 事業目的

- ・（政策評価）必要性、有効性、効率性、公平性及び優先性の観点から客観的な評価を行い、政策の企画立案作業における重要な情報として政策評価結果を活用する。
- ・（公共事業評価）事業着手前から完了後までの各段階において評価を行い、その結果等を公表することにより、公共事業の効率化、重点化を図るとともに、その実施過程の透明性を向上させる。

3 事業目的を達成するための取組

- ①政策評価の実施
- ・長野県総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0、H30～R4年度）の成果と課題を分析・検証するため、計画最終年度である令和4年度を対象とした政策評価報告書を作成
 - ・県民への説明責任を果たし、翌年度以降の事業改善等に反映させるため、内部管理経費等を除く県の事業について事業改善シートを用いた事業点検を実施
- ②公共事業評価の実施
- ・令和6年度に新たに事業着手しようとする箇所について、新たな評価基準を用いて、県が実施する「妥当性」と実施箇所の「優先度」を評価し、事業採択の判断に活用
 - ・継続中、完了後の箇所について評価を行い、必要に応じて事業の見直しを行うとともに、同種事業の実施のあり方に反映
 - ・評価の客観性、公平性を確保するため、長野県公共事業評価監視委員会から意見を聴取し、評価に反映

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
	指標なし										

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計			
					うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		2.0
	(要求)		1,181		1,181	1,181	
R4年度		1,243		1,243	1,243		2.0
R3年度		1,493		1,493	1,493	413	2.0

事業番号	03 04 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）			■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	政策評価・公共事業評価費			部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課政策評価室	

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	政策評価・公共事業評価費		1,493 千円	1,243 千円	(予算案) (要求) 1,181 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県総合5か年計画の政策評価	直接	しあわせ信州創造プラン2.0の政策評価報告書を作成するとともに、全部局の事業改善シート（令和4年度実施分）を点検し、令和5年9月に公表予定 政策評価報告書の作成：1巻、事業改善シートの点検：約230事業		
2	長野県公共事業評価監視委員会	直接	長野県公共事業評価監視委員会の運営、開催 委員会開催：4回、現地調査：1回		